

CMS 基本要件表

		要件 (必須項目●、推奨項目☆)	実現可否 (実現できる項目に○を付けること。)		
			特記事項		
1. 基本情報					
基本情報	1-1	原則 PC 端末にソフトのインストールなどをする必要がないこととするが、必要が生じた場合は、担当職員と協議の上、本学の許可を得ること。	●		
	1-2	CMS で作成されるページは、トップページを除き、原則として作成したページがそのまま表示されること。	●		
	1-3	PC 端末より Google Chrome、Safari、Microsoft Edge、Firefox を通し、本学の LDAP サーバと連携した ID、PASSWORD 認証にてログインできること。詳細については、担当職員と協議の上、決定すること。	●		
	1-4	ページ編集時や承認時の各操作など、日常的に行う操作については、操作者がストレスを感じない応答時間とする (応答時間は概ね 5 秒以内とする。)	●		
	1-5	利用者 (作成者、承認者、管理者) に応じて、ページ毎に操作できる権限 (ページ、ファイルの作成、更新、修正、削除等) を設定し、制御できること。 [管理者] すべての管理機能にアクセスできるユーザー [承認者] 他のユーザーの投稿を含むすべての投稿を編集、管理、承認できるユーザー [作成者] 自身の投稿を編集、管理できるユーザー	●		
2. ページ作成機能					
基本的な仕様	2-1	日本語ページは CMS で作成可能なこと。	●		
	2-2	日本語のページを自動翻訳し、同じ内容を多言語表示できる仕様にする。	●		
	2-3	CMS で作成するページの URL は公開する前にわかること。また、ページごとにパーマリンク (URL) を設定、変更できること。	●		
	2-4	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。また、管理者によって、修正、追加、削除が行えること。テンプレートは、担当職員と協議の上、数種類作成すること。	●		
	2-5	文章入力や装飾などは、Microsoft Word と同等の操作で行えること。	●		
	2-6	制作途中のページを一時的に保存し、再ログイン後編集を再開できること。	●		

	2-7	ページ（記事）を複製したものを新規ページとして作成できること。	●		
	2-8	ページを一時的に非公開とできること。（外部からは見られないが、CMS内にはファイルが存在。）	●		
	2-9	原則ウェブアクセシビリティは、日本工学規格(JISX 8341-3:2016)の適合レベルAAに準じたものとし、音声解説等が提供できること。	●		
他データの 流用・表	2-9	Word データ及び Excel データを取り込む（もしくはコピー&ペーストする）ことができること。その際、アプリケーション特有の HTML 表現を削除できること。	●		
	2-10	表を CMS 内で作成でき、Word データ及び Excel データから取り込む（もしくはコピー&ペーストする）こともできること。また、表の加工（行、列の追加や削除・見出しセルの設定、幅のパーセント指定など）が、ソースを編集せずに簡易な作業で行えること。	●		
画像・ 添付フ ァイル	2-11	簡易な操作でページ内に画像を配置できること。	●		
	2-12	ページに各種ファイルが添付でき（Word、Excel、PDF は必須）、ファイル種別は規制できること。	●		
	2-13	公開する画像のファイル容量（またはサイズ）を制限することができること。	☆		
	2-14	ファイルを添付した際にファイルの種類やサイズの表記が本文中に自動で挿入されること。また、PDF の場合、Adobe Acrobat Reader のダウンロード用リンクバナーが挿入されること。	☆		
	2-15	アップロードファイルのファイル容量を、統一して制限できること。	☆		
リンク	2-16	サイト内でリンク設定をする場合には、簡易に確認することができること。	●		
ライブ ラリ	2-17	テキストや画像を組み合わせる部品化したもの（ライブラリ）や、よく使用するレイアウトのブロック要素などをシステムに登録でき、必要に応じて制作ページの中に張り付けることができること。	●		
	2-18	編集中ページのプレビューが可能であること。	●		
	2-19	ライブラリやブロック要素を修正した際には、CMS に登録されている各ページに対し、修正内容が反映できること。	☆		
検索機 能	2-20	「 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/ 」以下及び指定のディレクトリを対象としたサイト内検索ができること。	●		

地図	2-21	ページ内に Google マップなどの地図情報を埋め込み、簡単な操作（直接ソースを扱わずに）で施設などの所在地の表示ができること。	☆		
動画	2-22	ページ内にソースを埋め込むことで動画を掲載できること。	●		
ソーシャルメディア	2-23	Instagram や LINE などのソーシャルメディアと連携が可能なこと。本学ウェブサイトへの記事掲載と同時に、連携して、本学が指定するソーシャルメディアへの投稿が可能なこと。ソーシャルメディアへの投稿の有無について選択できること。	●		
3. 更新、生成機能					
パンくずリスト	3-1	パンくずリストを生成できること。その際、ページタイトルを引用することができること。	●		
	3-2	パンくずリストに変更が生じた場合は、公開中の関連ページに一斉に反映できること。	●		
サイトマップ	3-3	サイトマップが生成されること。	●		
	3-4	生成されたサイトマップを手動で編集できること。	☆		
RSS 出力	3-5	カテゴリごとの新着情報を RSS フォーマットで出力できること。また、編集中の未公開ページは対象としないこと（以前の記事をもとに作成した場合など）。	●		
4. サイト管理機能					
管理対象	4-1	作成者に更新権限の与えられたページであっても、管理者が指定したデザイン部分（グローバルナビゲーション等）は変更できないものとする。	●		
	4-2	利用者が権限に応じて、CMS 内のページが作成中・承認待ち・承認済・公開中・公開終了など、ページの状態を確認できること。	●		
ログ	4-3	アクセスログを把握できるようにすること（少なくともトップページとナビゲーションバーに設置する項目のアクセス数を記録できるようにすること）。	●		
	4-4	各ページの承認依頼・承認・公開といった更新履歴をログとして残すことができる。	☆		
ユーザー管理	4-5	管理者は、簡易な操作で CMS 上にてユーザー情報の修正、追加、削除を行えること。	●		
	4-6	ユーザー情報を、CSV 等の形式で出力・入力することができる。	●		

カテゴリ管理	4-7	情報を掲載する階層・カテゴリ（テーマ別分類など）について、管理者にて変更が可能であること。また、この変更がサイトマップに反映されること。	●		
バナー管理	4-8	各バナーの画像等を CMS 内で管理できること。	●		
5. テンプレート編集					
テンプレートの編集	5-1	テンプレートやライブラリ、ブロック要素は、HTML や CSS の知識のある者であれば、新規作成や編集ができること。	☆		
6. 承認ワークフロー					
基本仕様	6-1	内容確認のため、ページのプレビューが可能であること。	●		
	6-2	管理者は承認依頼のある案件を一覧で確認できること。	●		
	6-3	ページの公開を否認し、作成者への差し戻しができること。	☆		
	6-4	承認処理、否認処理についてはそれぞれ一括して複数のページを処理できること。	●		
承認依頼中の修正	6-5	承認依頼中のページは修正ができること。	●		
	6-6	管理者は、承認依頼を受けたページを修正することができること。	●		
7. 公開					
公開	7-1	承認したファイルを、公開設定された日時に公開・表示できること。	●		
	7-2	公開期間が任意に設定でき、公開期間外は非公開となること。	●		
	7-3	学内限定に設定したページから新規にリンクを張るアップロードファイルも学内限定の設定とすること。	●		
	7-4	ファイルアクセスにも学内限定の設定が可能なこと。	●		